SONY®

サービスガイド

1977年9月 発行

ジェットセンサー プラストリニトロン **CITATION**

カラーテレビ

KV-1375A

参考：調整マニュアル(1)

Xシャーシ
シャーシ番号SCC-146B-A

本機の概要

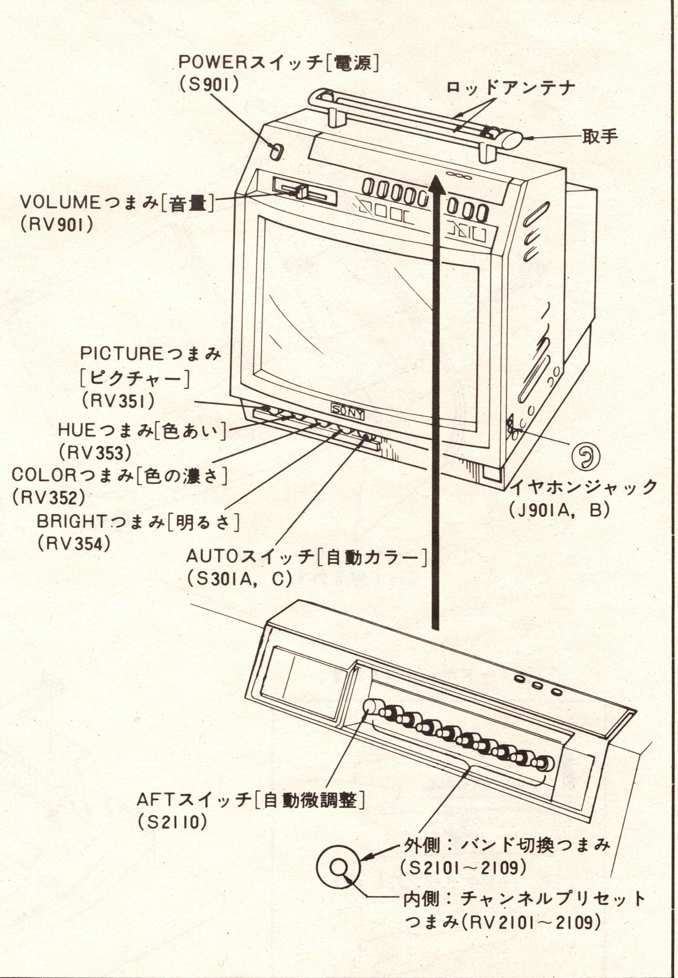
1. KV-1375に「オーディオ出力」端子を追加。
   回路及びシャーシ構造はKV-1375と同じ。
2. A，C，D基板のブロック名及び，調整ボリューム名を日本語表示化。
3. 黒レベルの安定したペデスタルクランプ回路の採用。
4. プラストリニトロン管採用により高輝度，高画質。
5. エコノクイック管採用（ヒーターはパルス点火）
6. ソフトプッシュの選局機構（ジェットセンサー）採用。
7. シャープネスボリューム(サービスマンコントロール)付。

概略仕様

ブラウン管	330GB22(SD-94) 13型90度偏向トリニトロン方式 シリンドリカル角形フェイス(エコノクイック)
使用半導体	IC，FET，トランジスター，ダイオード
アンテナ方式	ロッドアンテナ(ダイポール)内蔵 外部アンテナ端子 VHF 75Ω(不平衡形)，300Ω(平衡形) UHF 300Ω(平衡形)
音声部	出力 2W(最大) スピーカー 8×12cm 8Ω
自動調整回路	のこぎり波AFC，リバースAGC(尖頭値型)
電源	AC100V，50/60Hz
消費電力	65W
高圧	23.3kV(CRTカットオフ時)
ジャック	イヤホンジャック 2
大きさ	幅337×高さ437×奥行365.5(mm)
重さ	11.9kg
おもな付属品	イヤホンME-20B……………1 UHFループアンテナAN-15…1 プリセットアダプター………1 チャンネルラベル……………1

本機の仕様は性能向上のため変更する場合があります。

【外観名称】



【⟸マークについて】

裏カバーやシャーシの各ブロックは⟸マークで示されたねじを外すと取り外せます。

注　意

本機は，トランスレス半波整流方式を採用しています。このため，シャーシに触れると電撃を受けることがあります。

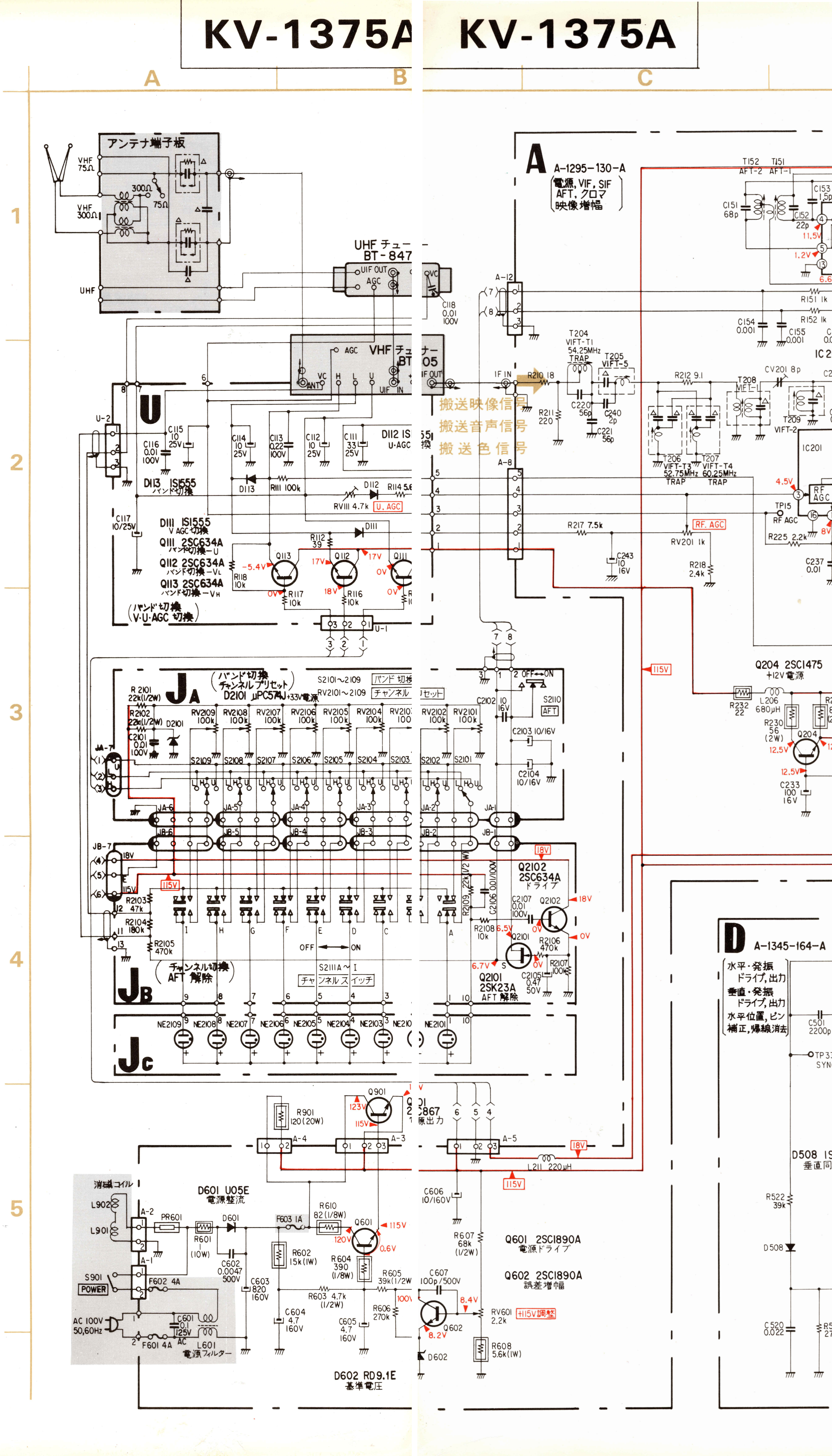
安全・性能維持のため，必ず指定の部品をご使用下さい。

回　路　図

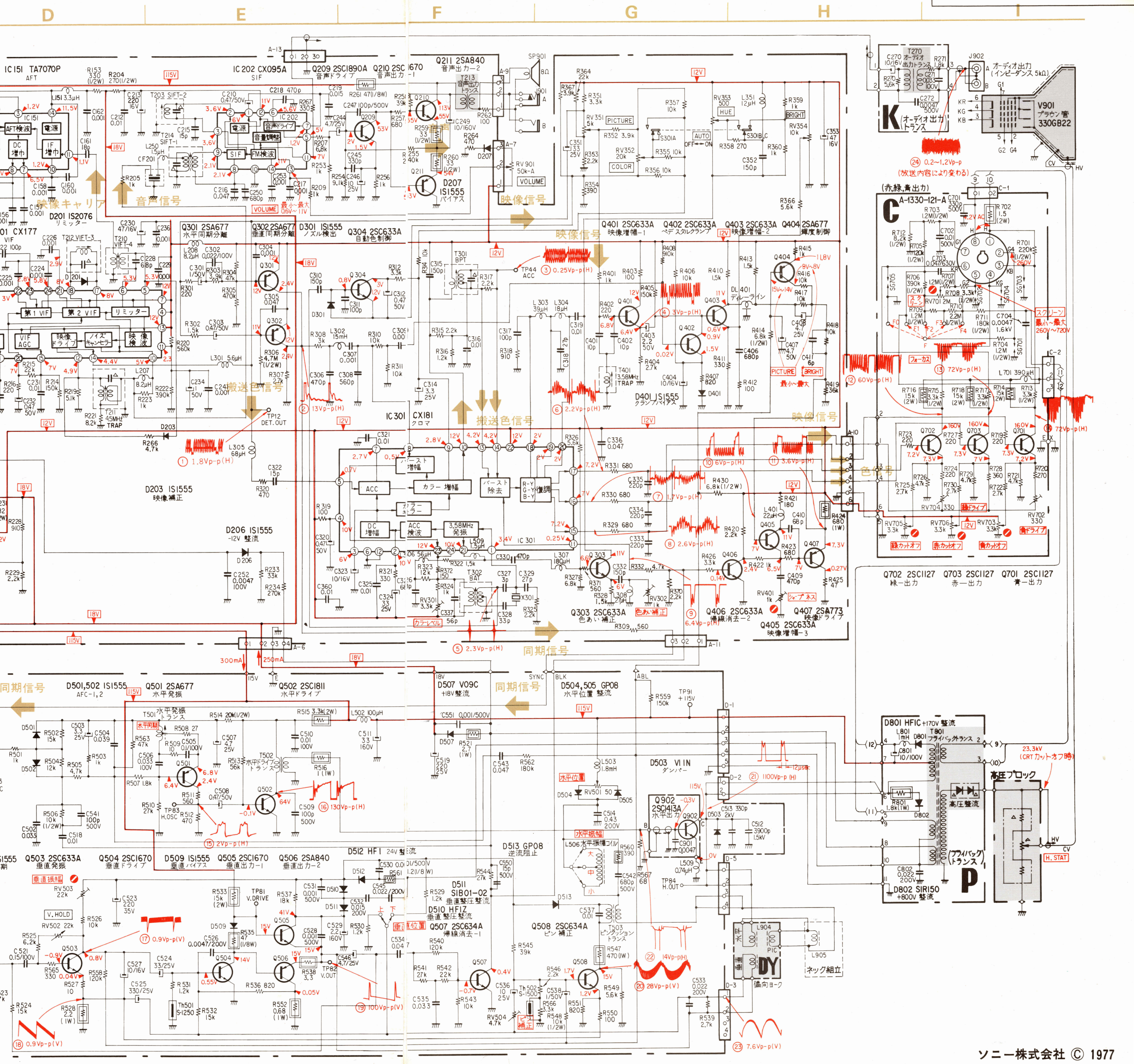
印の部品は，安全性を維持するために，重要な部品です。従って交換時は，必ず指定の部品を使用して下さい。

・抵抗で指示のないものは¼W。単位はすべてΩ。
・ケミコンを除くコンデンサーで耐圧50V以下のものは，その耐圧を省略。単位はすべてμF（pはpF）。
・可変抵抗と半固定抵抗でB特性の表示は省略。
・△印は内蔵部品。
・は，不燃性抵抗。
・は，パネル表示名称。

・電圧は，カラーバーゼネレーターよりカラーバー信号を受信したときの対アース間の参考値。（使用テスターDC20kΩ/V）。
・PICTURE ……時計方向へ80%。
・BRIGHT ………メカニカルセンター。
・V は主要電圧ラインを示す。（実測値は異なる場合があります）。
・印はキャビネット外部から調整可能な調整ボリュームを示す。
・は調整名称。
・U基板の電圧値は，チャンネルA（Low Band）にて測定した値。

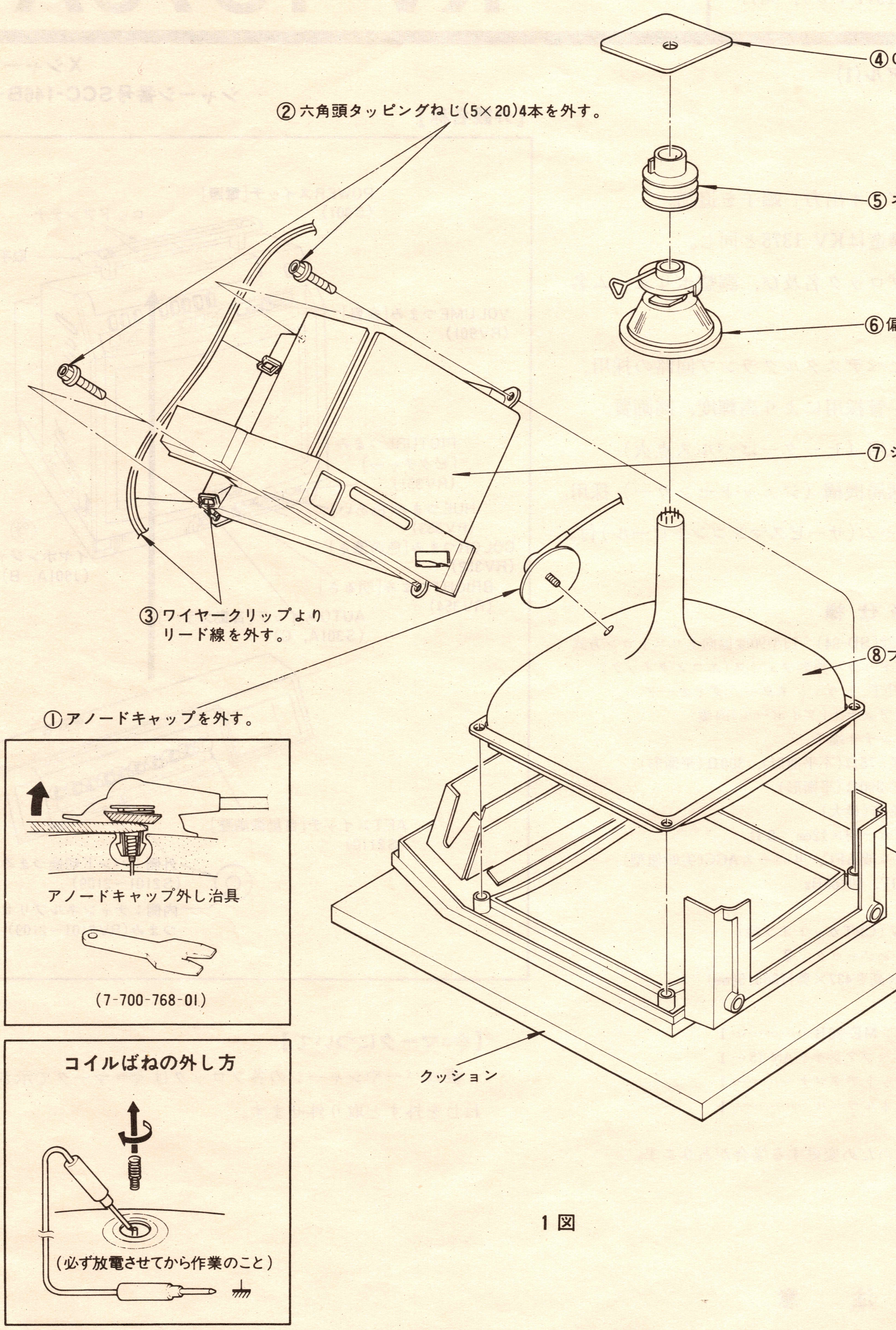


KV-1375A



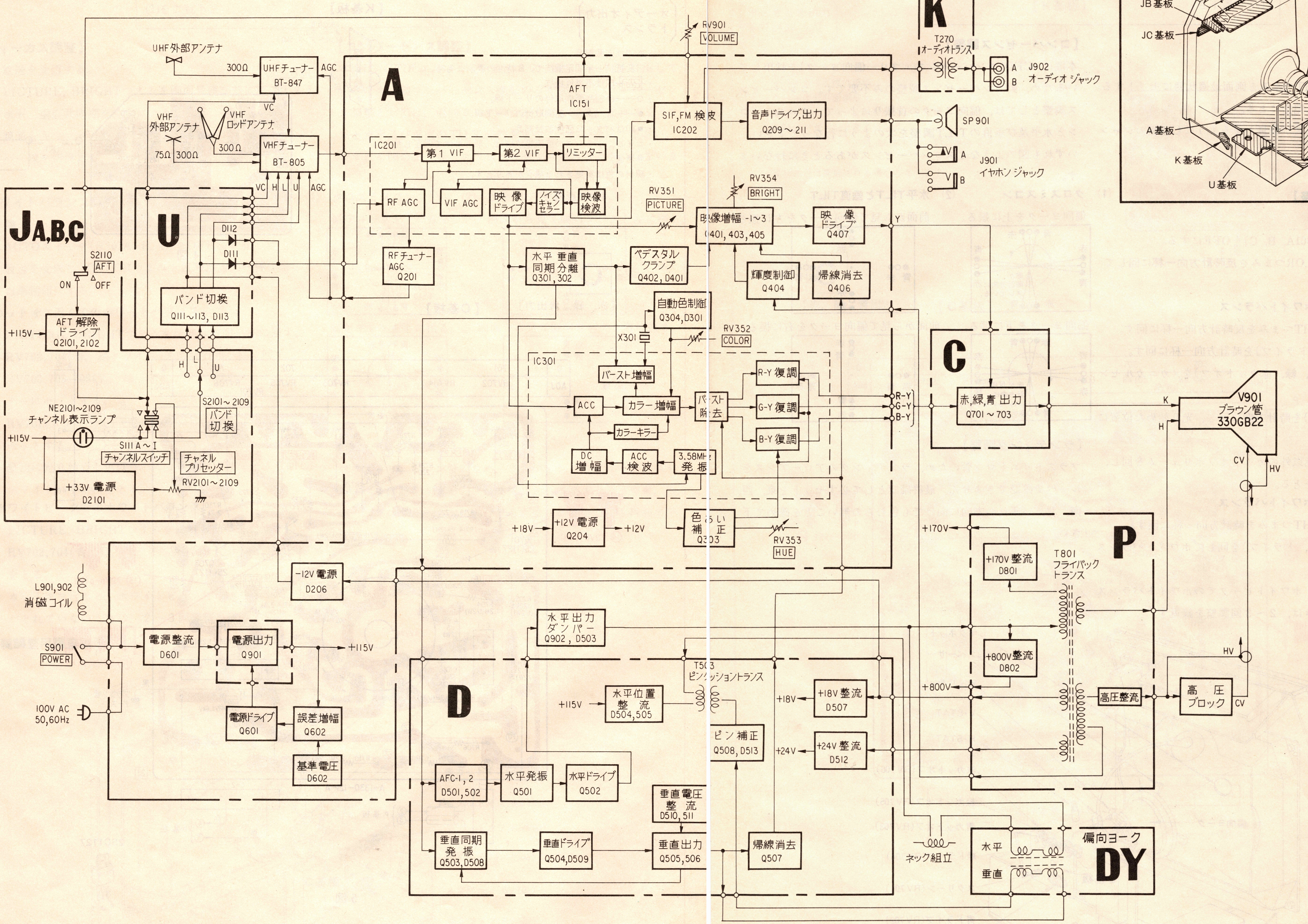
ソニー株式会社 © 1977
77I0258-I

【ブラウン管の外し方】

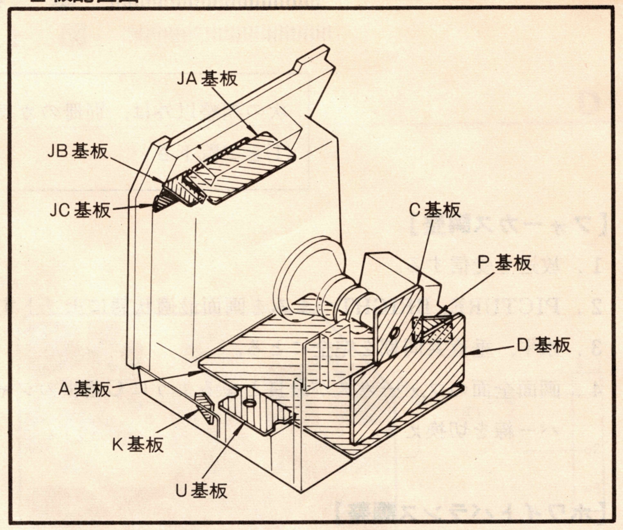


1図

【ブロックダイヤグラム】



・基板配置図



2 図

基　礎　調　整

次の調整以外は，別冊のカラーテレビジョン調整マニュアル(1)をご覧下さい。

1 **【フォーカス調整】**

1．放送を受信する。
2．PICTURE, BRIGHTつまみを画面最適状態にセットする。
3．水平，垂直共同期を完全にとる。
4．画面全面のフォーカスが最良となるようにC基板のジャンパー線を切換える。

【ホワイトバランス調整】

準　備

2 1．AUTOスイッチ(S301A, B, C)をOFFにする。
2．放送を受信し，COLORつまみを**反時計方向一杯**に回して白黒画面にする。

(1)カットオフ近くでのホワイトバランス

1．PICTURE, BRIGHTつまみを反時計方向一杯に回す。
2．RV702,704(青，緑ドライブ)を時計方向一杯に回す。
3．RV703,705,706(青，緑，赤カットオフ)をメカニカルセンターにセットする。
4．RV701(スクリーン)を時計方向に回し，光り始めた位置に
3 セットする。
5．最初に光り始めた色以外のカットオフボリュームを回し，ホワイトバランスをとる。

(2)ホワイトピークでのホワイトバランス

1．PICTURE, BRIGHTつまみを時計方向一杯に回す。
2．RV702,704(青，緑，ドライブ)を回してホワイトバランスをとる。

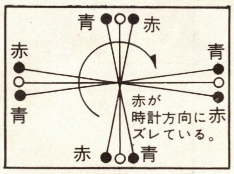
注）カットオフ近くと，ホワイトピークでのホワイトバランスがとれていないときは，2～3回調整を繰返す。

【コンバーゼンス調整】

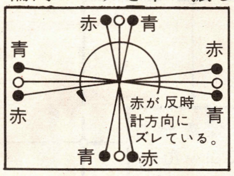
本機は，CFD(コンバーゼンス・フリー偏向ヨーク)を採用しているため，動コンバーゼンス調整のみ不要です。コンバーゼンス調整としては，偏向ヨークの首振りによって，クロスミスコンと水平及び垂直のTILT調整を次のように行なって下さい。いずれも図のようなミスコンバーゼンスがあるときに行ないます。

(1)　クロスミスコン

偏向ヨークを上に振る。

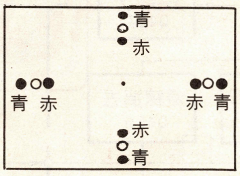


偏向ヨークを下に振る。

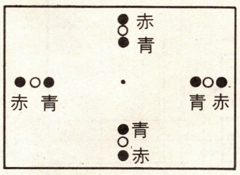


(2)　水平TILTと垂直TILT

前面から見て偏向ヨークを左に振る。



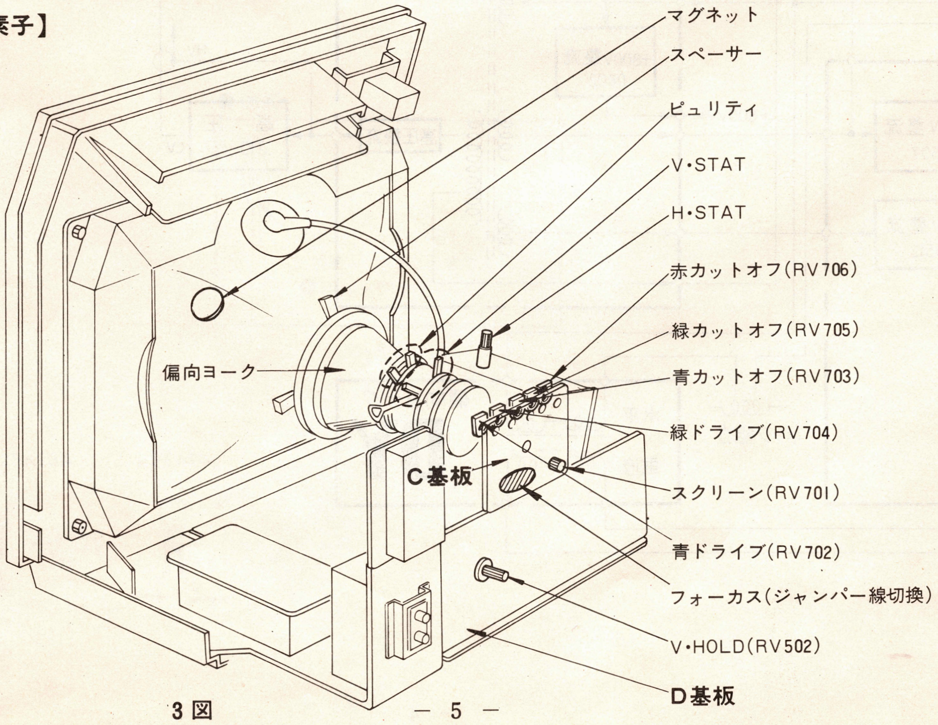
前面から見て偏向ヨークを右に振る。



【ランディング調整】

プラストリニトロン管のため，ランディングのアローアンスをルーペで確認できません。最終確認として必ずセットを東，西，南，北，いずれの方向に向けても色むらの無いことを確めて下さい。

4 **【基礎調整用調整素子】**



5

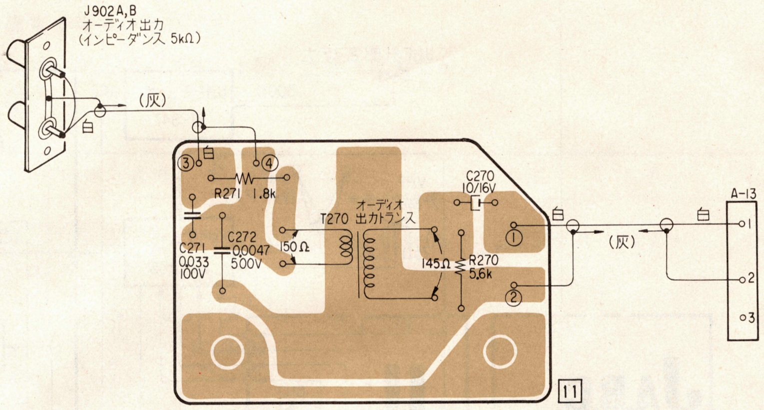
3図

プリント図

K 〔オーディオ出力トランス〕

- △印は内蔵部品
- 可変抵抗と半固定抵抗で，B特性の表示は省略。
- [不燃性抵抗記号]印は不燃性抵抗。
- ○——は部品面側取付のリード線。
- ●——はパターン面側取付のリード線。
- ■印はパターン面側取付部品。
- コイル，トランスの直流抵抗値は，部品単体で測定した参考値。
- 線材の色は変更される場合があります。

【K基板】

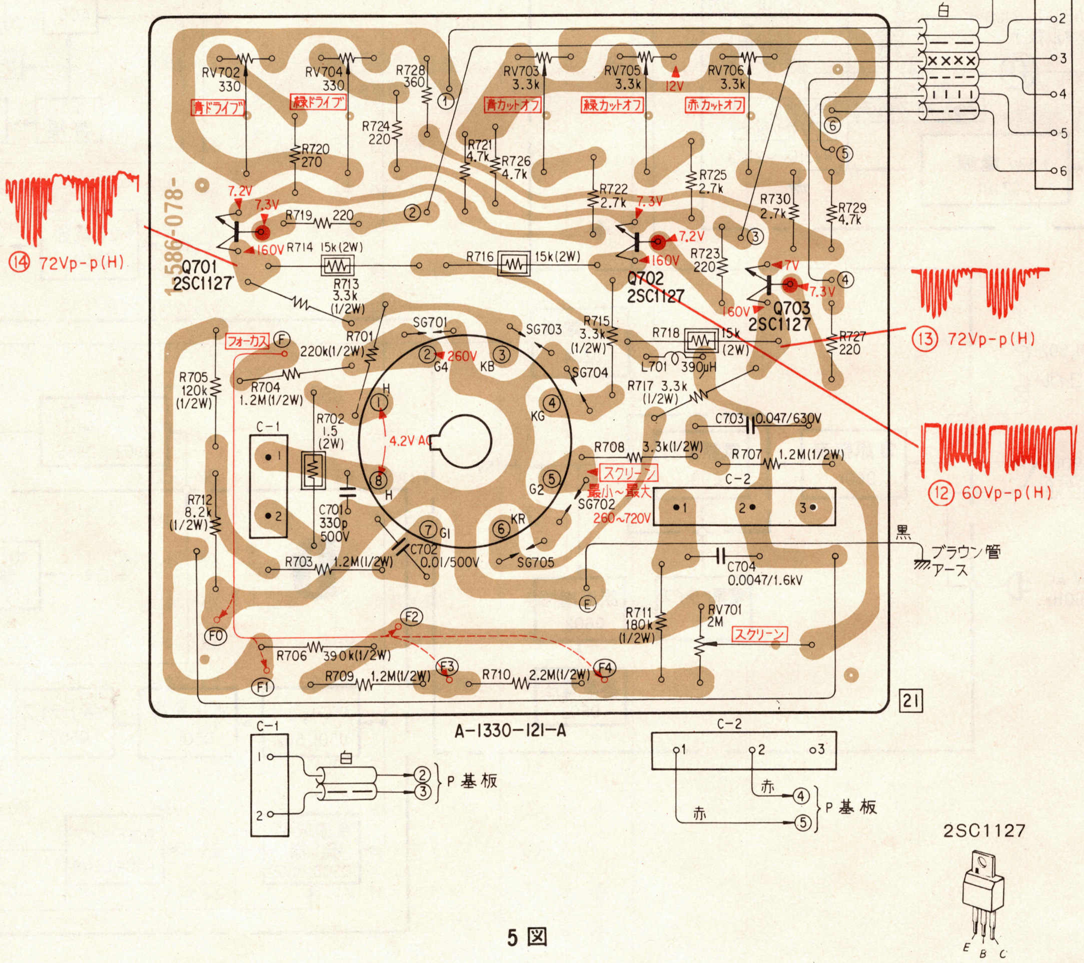


4 図

C 〔赤，緑，青出力〕

【C基板】

Q	701			702	703	Q
ADJ	RV702	RV704	RV703	RV705	RV706 RV701	ADJ



5 図

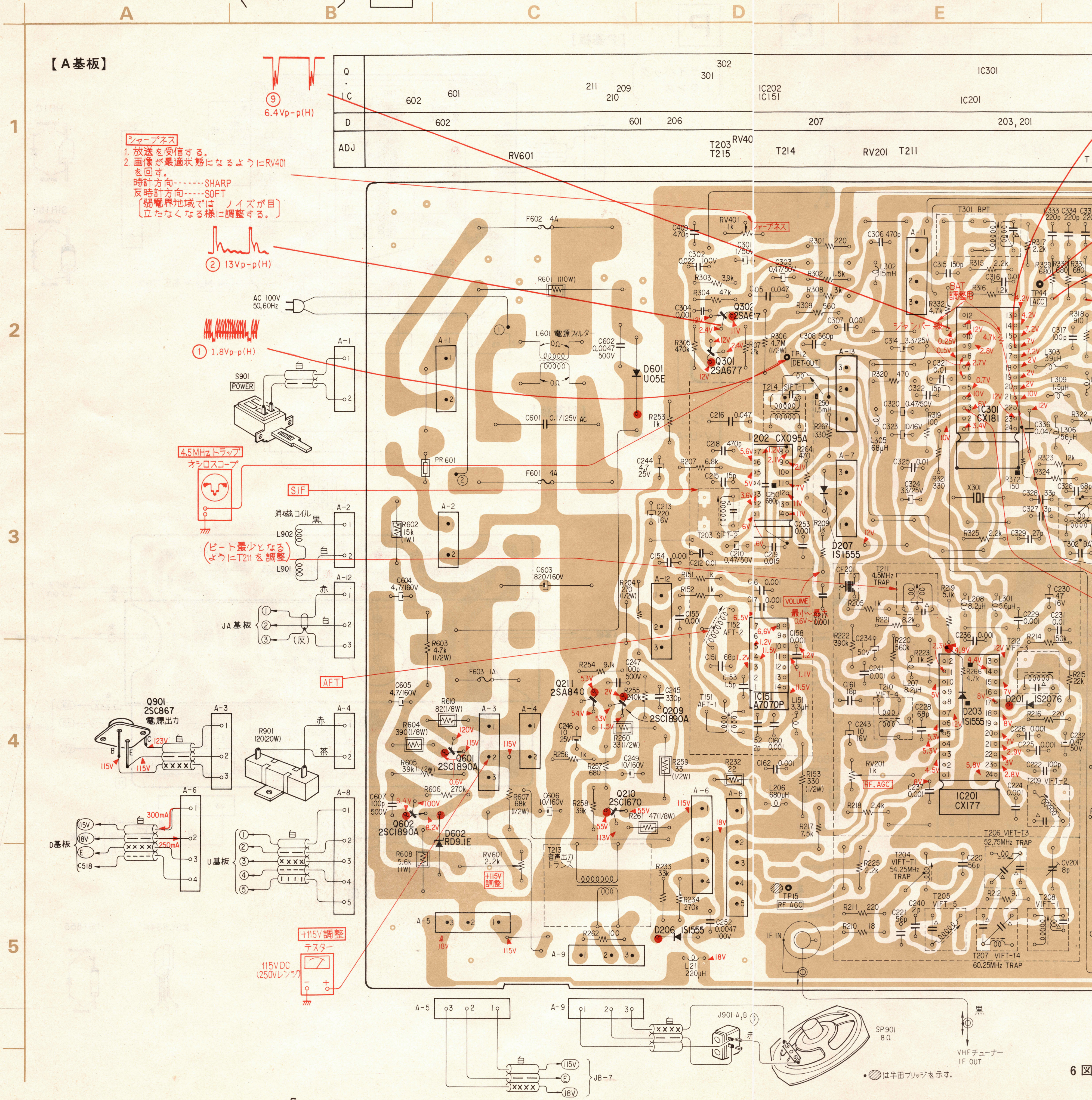
電源, VIF, SIF
AFT, クロマ
映像増幅

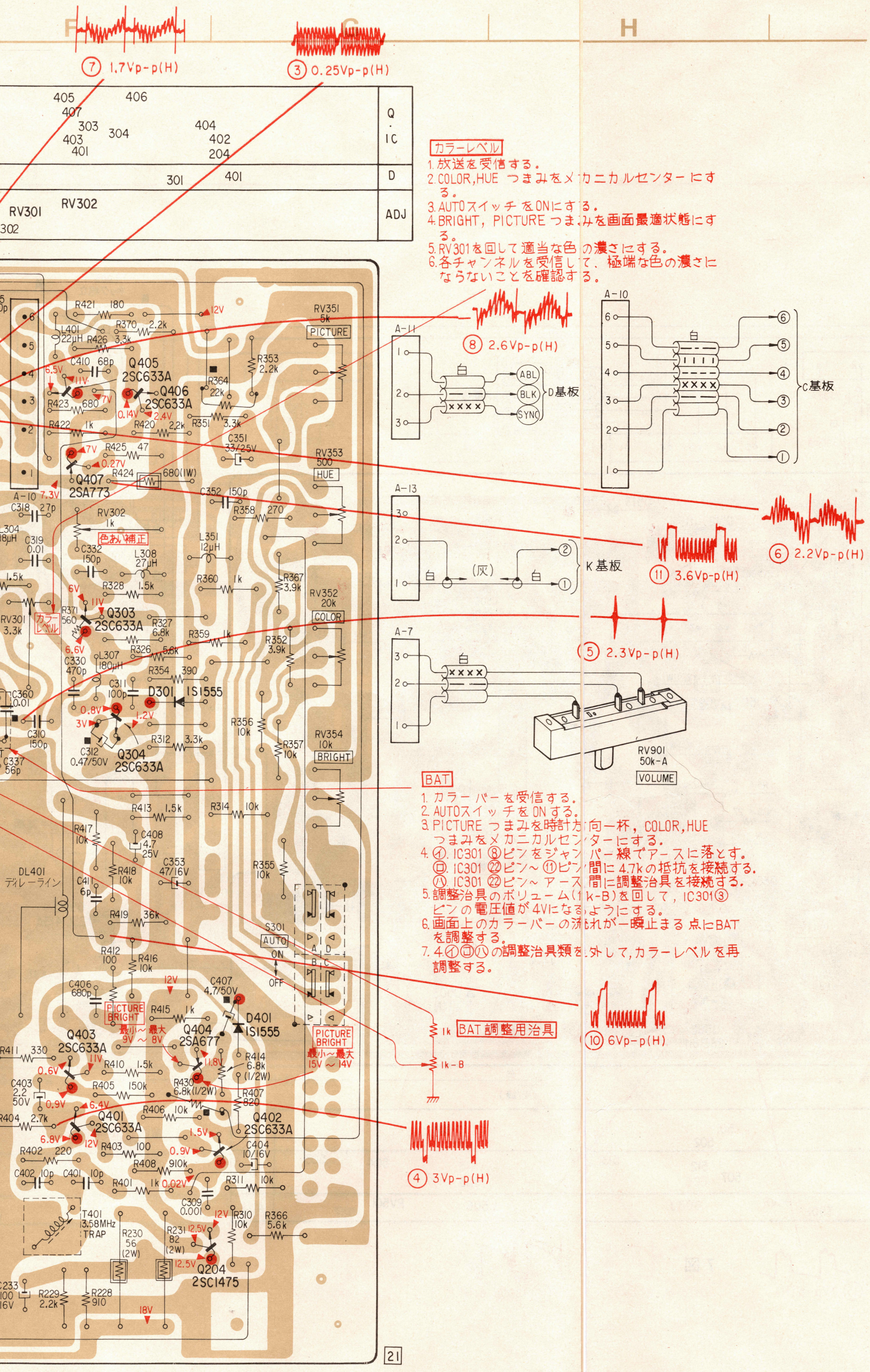
A

SCC-146B-A

KV-1375A KV-1375A

SCC-146B-A





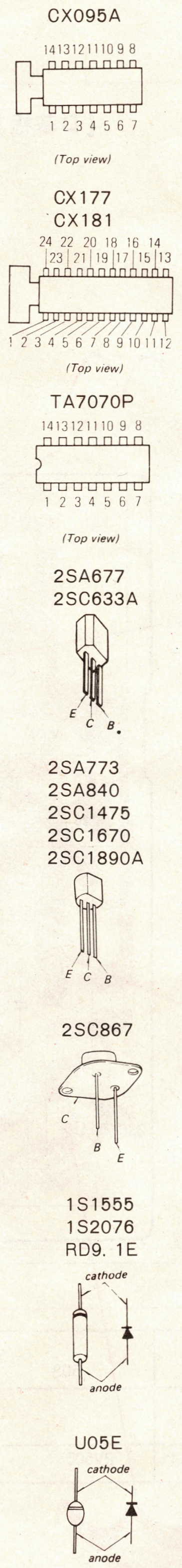
カラーレベル

1. 放送を受信する。
2. COLOR,HUE つまみをメカニカルセンターにする。
3. AUTOスイッチをONにする。
4. BRIGHT, PICTURE つまみを画面最適状態にする。
5. RV301を回して適当な色の濃さにする。
6. 各チャンネルを受信して、極端な色の濃さにならないことを確認する。

BAT

1. カラーバーを受信する。
2. AUTOスイッチをONする。
3. PICTURE つまみを時計方向一杯，COLOR,HUE つまみをメカニカルセンターにする。
4. ㋑. IC301 ⑧ピンをジャンパー線でアースに落とす。
   ㋺. IC301 ㉒ピン～⑪ピン間に4.7kの抵抗を接続する。
   ㋩. IC301 ㉒ピン～アース間に調整治具を接続する。
5. 調整治具のボリューム(1k-B)を回して，IC301③ピンの電圧値が4Vになるようにする。
6. 画面上のカラーバーの流れが一瞬止まる点にBATを調整する。
7. 4.㋑㋺㋩の調整治具類を外して，カラーレベルを再調整する。

A-1295-130-A



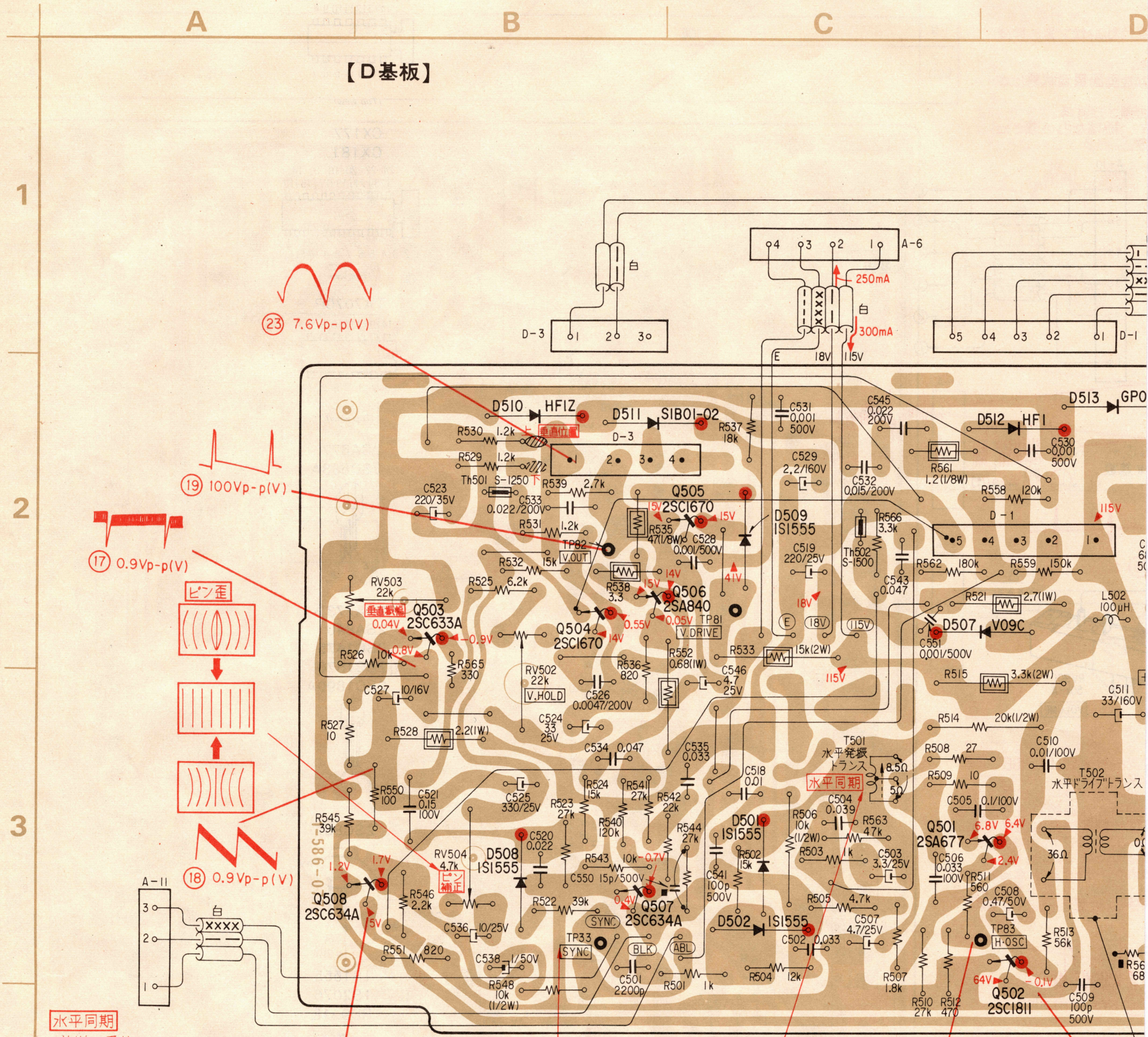
KV-1375A

SCC-146B-A

D

水平・偏向
垂直・偏向
水平位置，ピン補正
帰線消去

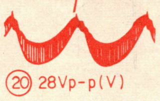
【D基板】

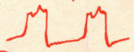


水平同期
1. 放送を受信する。
2. PICTRE, BRIGT, V-HOLDつまみを回して画面最適状態にする。
3. TP33をジャンパー線でアースに落す。
4. T501のコアを左右に回し，画面の流れが一瞬止まるようにセットする。

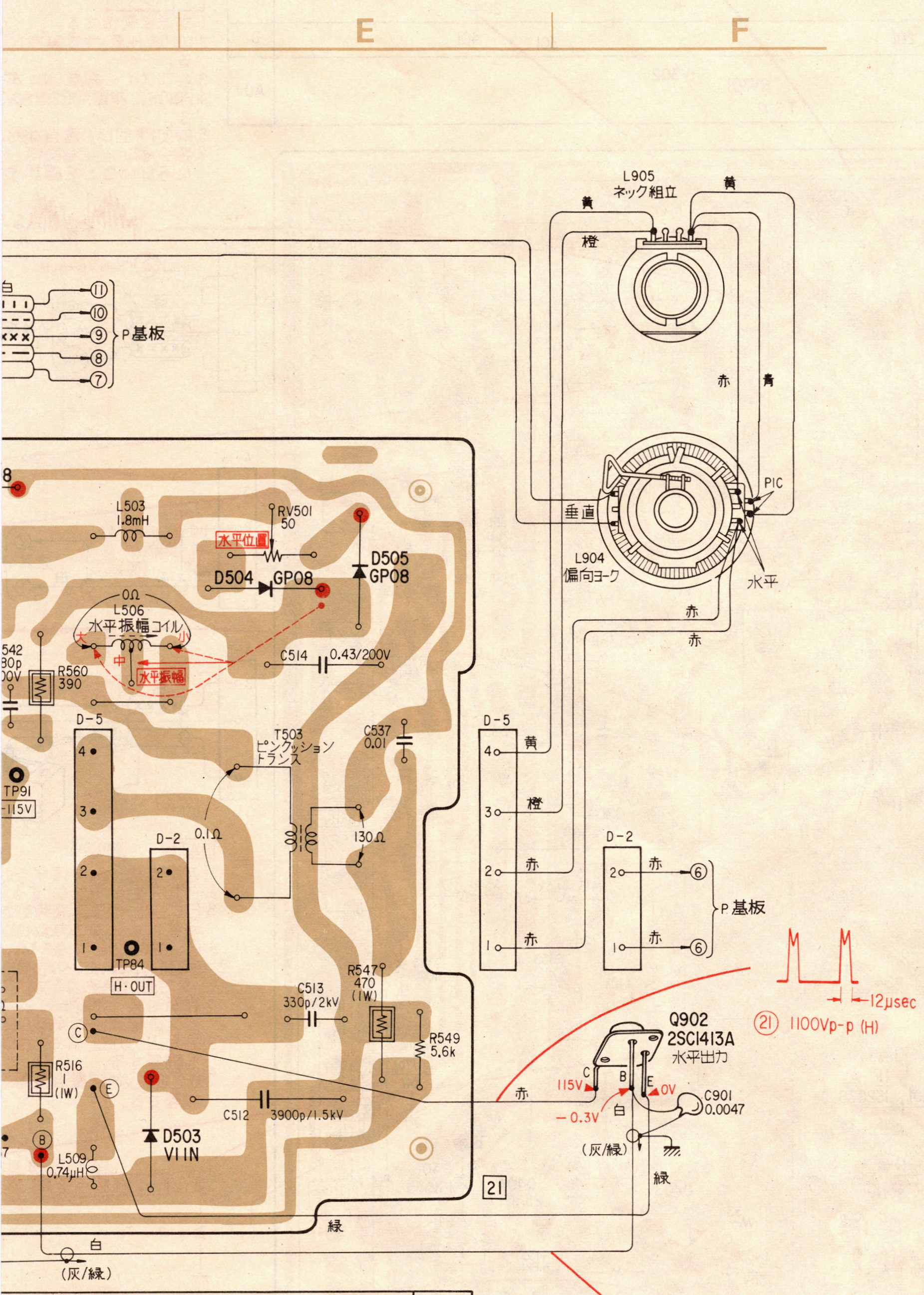
●▨半田ブリッジを示す。

Q	508 503 504 506 507 505 501 502
D	510 508 511 509 501 502 507 512 513
ADJ	RV503 RV504 T501

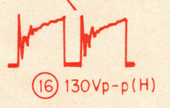


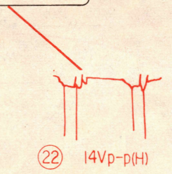


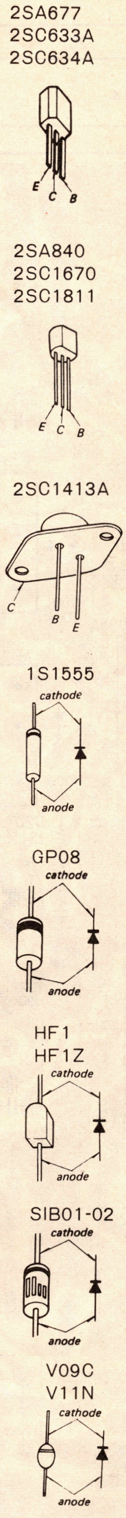
7 図



			Q
503	504	505	D
L506	RV501		ADJ







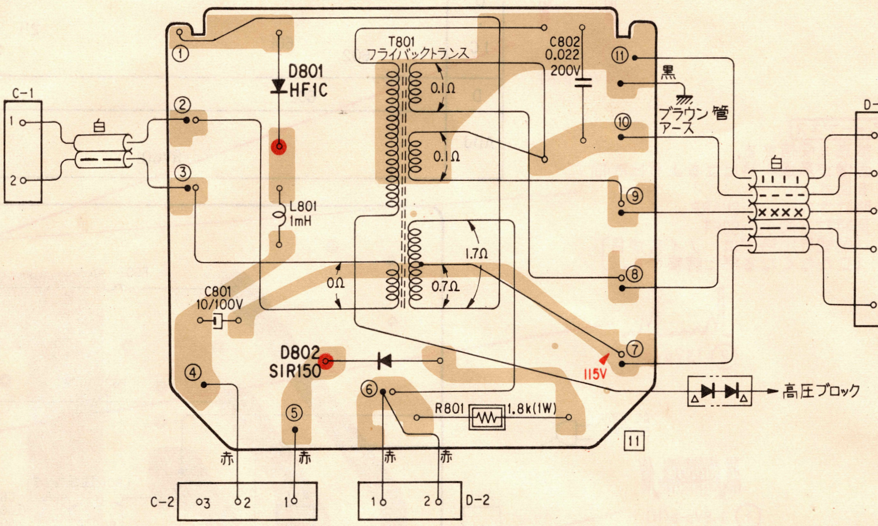
KV-1375A

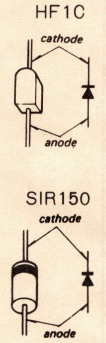
SCC-146B-A

P

【P基板】

（フライバック トランス）



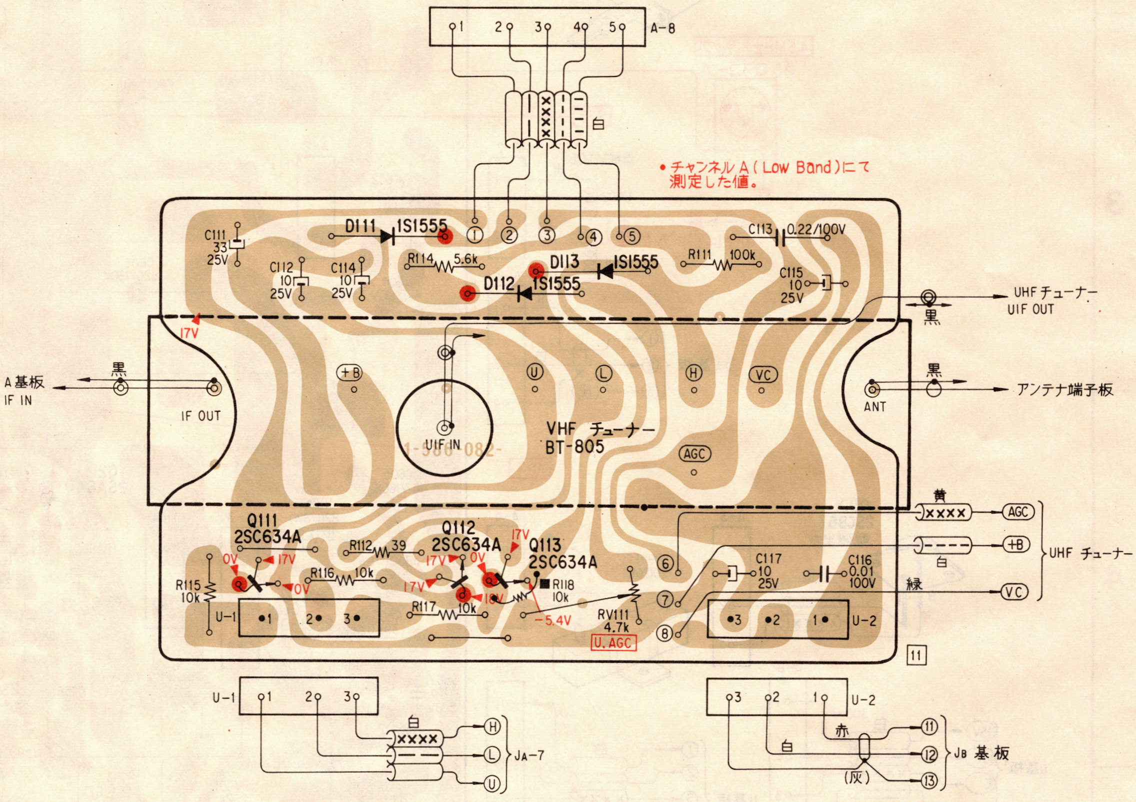


8 図

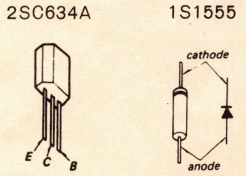
U

（バンド切換 V・U・AGC切換）

【U基板】



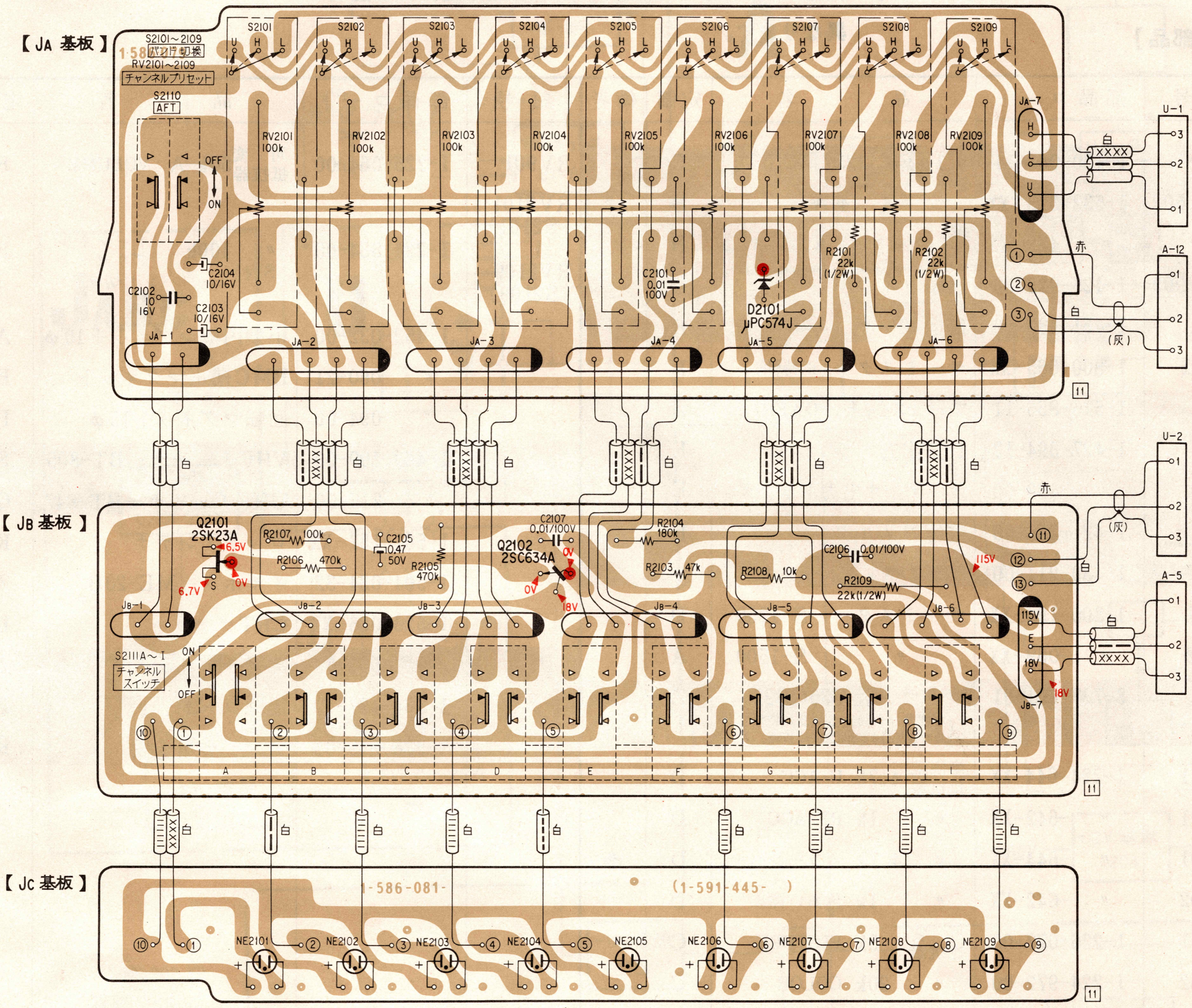
9 図



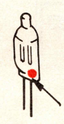
JA, JB, JC

（バンド切換，チャンネルプリセット
チャンネル切換，AFT解除）

【JA, JB, JC基板】

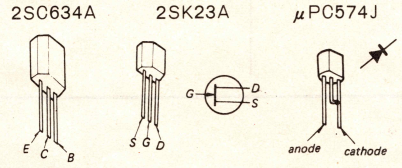


●注意



ネオンランプに極性がある為，
交換時には特に注意すること。
（●印は＋側を示す）

10図



主要部品表

-XX, -X：標準化部品のため，セットに付いている部品と異なる場合があります。

✚：補修用のため，回路図，プリント図と定数又は型名が異なります。

【電気部品】

記号	部品コード	品名	定価	備考
C601	1-130-087-11	0.1μF 125V AC フィルムコンデンサー	E	
F601,602	1-532-318-XX	ヒューズ 4A	B	
F603	〃 -452-XX	〃 1A	B	
L901,902	1-425-922-00	消磁コイル	K	
L904	1-451-136-00	偏向ヨーク	R	
PR601	1-800-065-XX	サーミスター（正特性）	F	
S901	1-516-856-11	プッシュスイッチ（POWER）	J	
T213	1-427-394-12	音声出力トランス	E	
T270	〃 -433-00	オーディオ出力トランス	E	
T601	1-421-225-00	電源フィルター	E	
T801	1-439-211-00	フライバックトランス	T	
Th501	1-800-198-XX	サーミスター S-1250	D	
Th502	〃 -069-XX	〃 S-1500	A	
V901	8-737-401-01	ブラウン管 330GB22	Z	
		（可変及び半固定抵抗器の特性カーブ（B）と単位Ωは省略。）		
RV111	1-224-644-XX	半固定抵抗器 4.7k U・AGC	D	
RV201	〃 -642-XX	〃 1k RF・AGC	D	
RV301	〃 -644-XX	〃 4.7k カラーレベル	D	✚
RV302	〃 -642-XX	〃 1k 色あい補正	D	
RV351	1-226-077-00	可変抵抗器 5k PICTURE	C	
RV352	1-224-972-00	〃 20k COLOR	C	
RV353	1-226-074-00	〃 500 HUE	C	
RV354	〃 -078-00	〃 10k BRIGHT	C	
RV401	〃 -055-00	〃 1k SHARP	B	
RV501	1-223-017-00	半固定抵抗器 50 水平位置	D	
RV502	1-224-646-XX	可変抵抗器 22k V・HOLD	D	
RV503	〃 -646-XX	半固定抵抗器 22k 垂直振幅	D	
RV504	〃 -645-XX	〃 10k ピン補正	D	
RV601	〃 -643-XX	〃 2.2k ＋115V 調整	D	
RV701	〃 -173-00	〃 2M スクリーン	D	
RV702	〃 -640-XX	〃 330 青ドライブ	D	
RV703	〃 -644-XX	〃 4.7k 青カットオフ	D	✚
RV704	〃 -640-XX	〃 330 緑ドライブ	D	
RV705	〃 -644-XX	〃 4.7k 緑カットオフ	D	✚
RV706	〃 -644-XX	〃 4.7k 赤カットオフ	D	✚

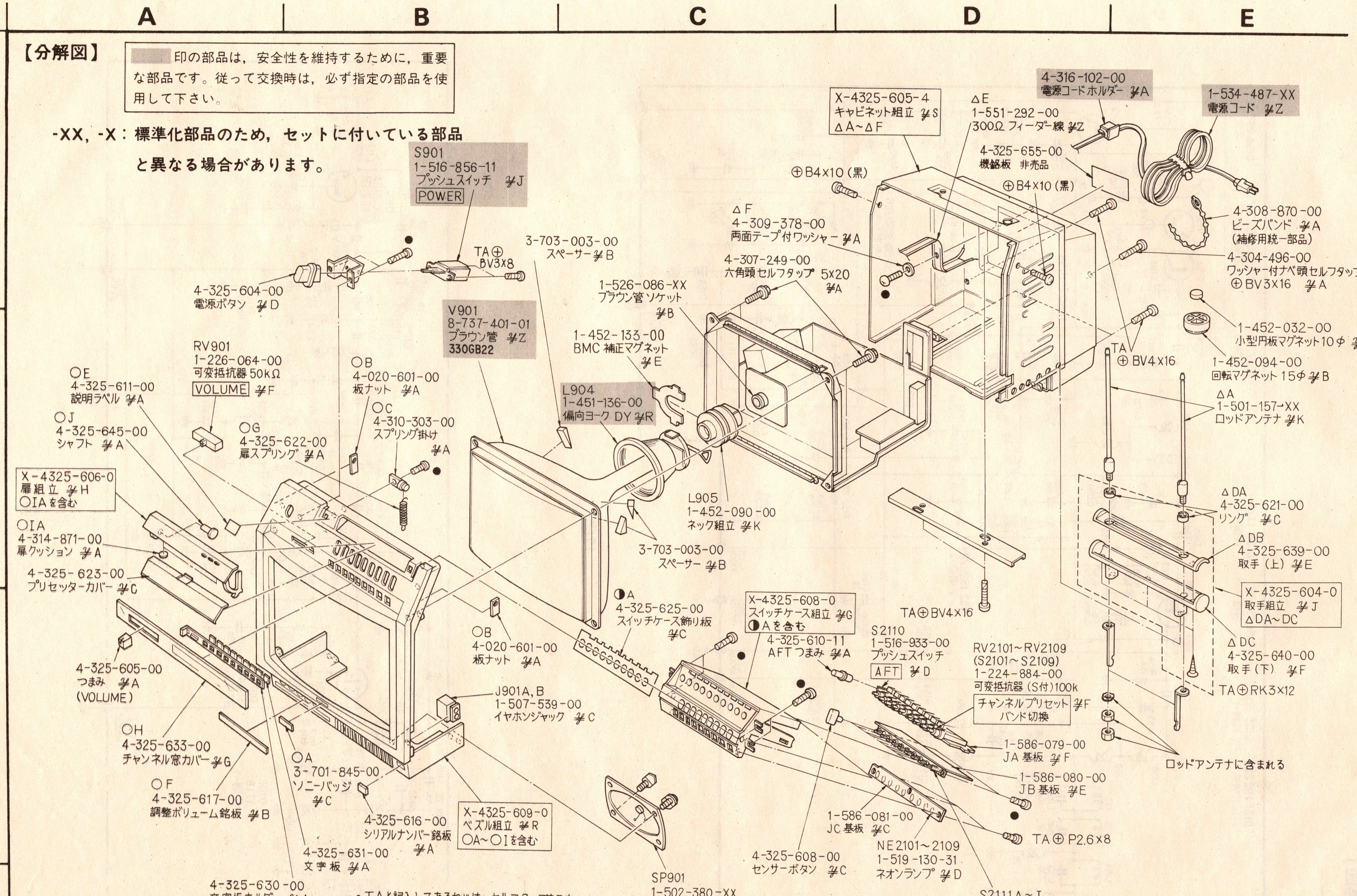
記号	部品コード	品名	定価	備考
RV901	1-226-064-00	可変抵抗器 50k-A VOLUME	F	
RV2101 (S2101) ～ RV2109 (S2109)	1-224-884-00	〃 100k (S付) チャンネルプリセット（バンド切換）	F	
	1-452-032-00	小型円板マグネット 10φ	A	
	〃 -060-21	BMC補正マグネット	E	
	〃 -094-00	回転マグネット 15φ	B	
	1-463-199-00	VHFチューナーBT-805	S	
	〃 -215-00	UHFチューナーBT-847	Q	
	1-501-157-XX	ロッドアンテナ	K	
	1-504-034-32	イヤホン ME-20B	Z	付属品
	1-526-086-XX	CRTソケット	B	
	〃 -553-00	アノードキャップ	J	
	1-534-487-XX	電源コード	Z	
	1-536-519-00	アンテナ端子板	K	

（網掛け）印の部品は，安全性を維持するために，重要な部品です。従って交換時は，必ず指定の部品を使用して下さい。

【分解図】

印の部品は，安全性を維持するために，重要な部品です。従って交換時は，必ず指定の部品を使用して下さい。

-XX，-X：標準化部品のため，セットに付いている部品と異なる場合があります。



• TA と記入してあるねじは，セルフタップを示す。
•●印のねじはセルフタップ⊕BV 3X12を示す。

11図

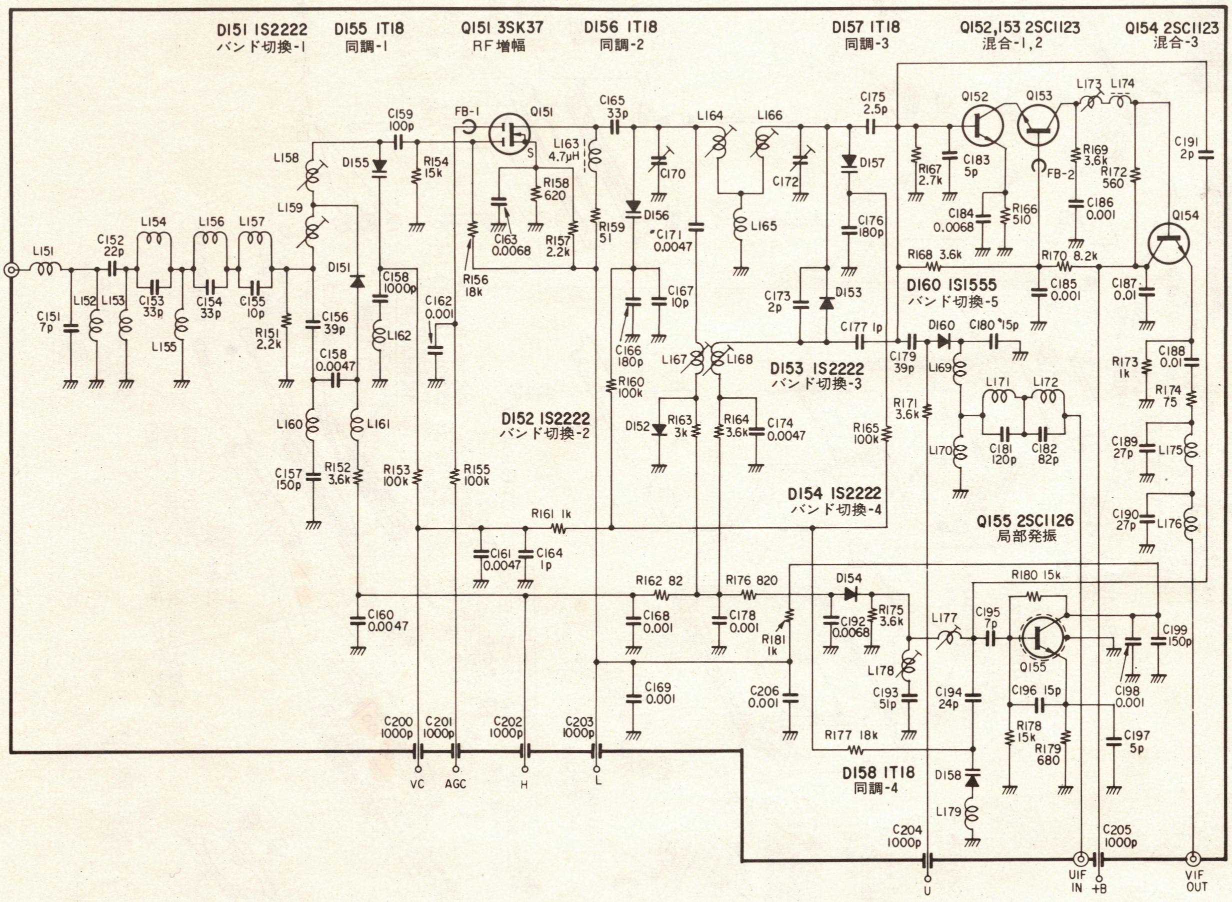
KV-1375A

SCC-146B-A

【チューナー回路図】

－VHFチューナー－

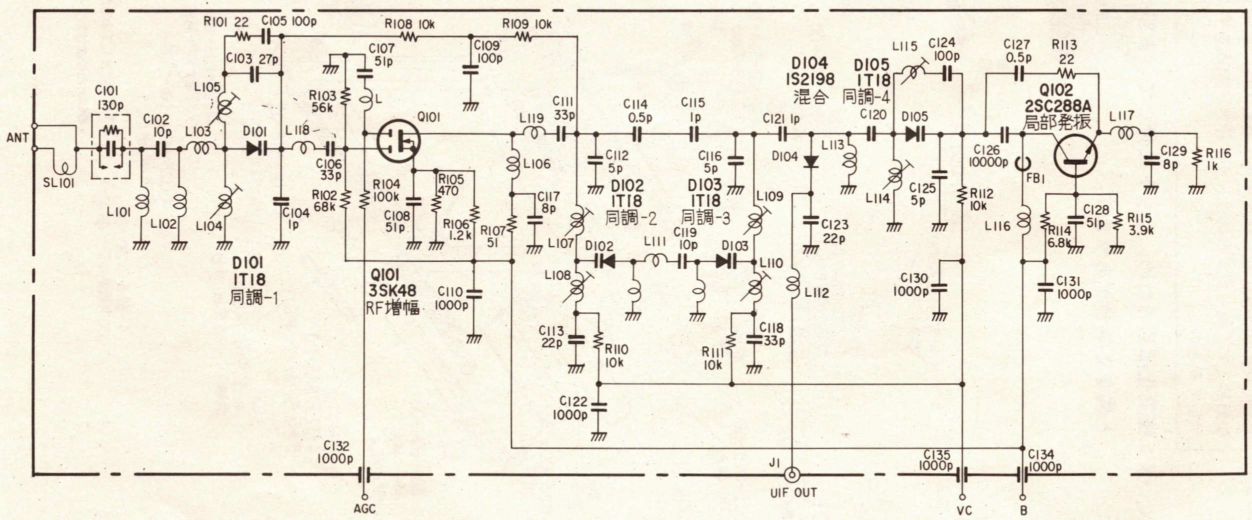
（BT-805）



12図

－UHFチューナー－

（BT-847）



13図

ソニー株式会社 © 1977

7710258-1